

市民クラブ

産業革命遺産の保存と関係団体との連携による知名度向上

問 産業革命遺産を適切に保存し、後世につなぐための財源確保や関係団体と連携した取り組みを伺いたい。

答 構成資産のうち、端島炭坑については、昨年9月に「端島(軍艦島)整備基金」を創設し、端島見学施設使用料やふるさと納税、個人団体からの寄附金を積み立てている。現在は、基金の周知を図るとともに、より簡易に寄附ができる仕組みの構築を進めている。また、旧グラブバー住宅については、国・県からの補助を受けて整備している。今後の構成資産の保存整備に係る財源についても、現行の補助制度に沿った支援などを国・県に対して要望していく。

また、旅行会社等への観光商品素材集の提供や、観光資源にちなんだ新たなお土産品開発コンテストの開催など、企業等との連携による商品開発や知名度アップに取り組んでいく。



▲追憶[長崎市観光イメージアップお土産品開発コンテスト(2つの世界遺産部門)最優秀賞受賞商品]

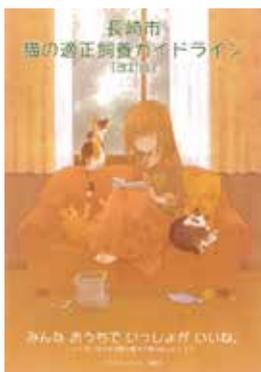
公明党

動物愛護行政

問 野良猫を不妊化し、殺処分せずに頭数を自然減少させていく、まちなご不妊化推進事業の成果と課題について伺いたい。

答 殺処分数については、事業を開始した平成26年度の実績では減少しており、今年度についても前年度から1割程度の減少が見込まれている。また、実施した地区からは、野良猫が減ったという報告があつていたりすることや、野良猫に関する苦情が減少傾向にあることから、効果を上げていくものと考えている。さらに、今年度は自治会単位での申請がなされており、地域ぐるみでの取り組みが広がりをみせていると判断している。

今後の課題としては、事業実施の条件である不妊化手術後の餌や糞尿等の管理が不十分である事例があるため、講習会実施の検討などを含め、なお一層の周知を図っていく必要がある。



▲市のホームページで、猫の適正飼養ガイドラインがご覧になれます。

池島の振興

問 人口減少が加速的に進行しているなか、住民が安心して住み続けられるまちにするため、どう取り組むのか。

答 池島には、日本で唯一坑道内を常時体験できる施設がある。坑内体験者数は年々増加しており、平成27年度は7千人が見込まれるなど、徐々にではあるが、活性化が図られていると考えている。

また、犯罪の未然防止の観点から、港の待合所への防犯カメラの設置や、より利便性の高いフェリーの運航ダイヤの見直しなどについて、地元の方や事業者との協議を進めるなど、住民の生活に関わる取り組みも行っている。

池島の地域力向上は、長崎市の重点化方針に掲げており、住民の皆様と話をしながら、池島の強みを伸ばすという面と、暮らしやすさをつくるという面の、両面から取り組んでいきたい。



▲池島坑内体験の様子

創生自民

消防出初式

問 毎年1月7日に実施している消防出初式は、市民会館での式典終了後、水辺の森公園でパレードと一斉放水を行っているが、移動に時間を要し、また、見学者も少ない。そこで、新県庁舎の完成後、その周辺で行う考えはないのか。

答 新県庁舎周辺での実施については、見直し案の一つとして検討しており、県から情報収集を行っている。

県庁舎建設工事は、平成30年3月の完成に向けて進められており、敷地の南側に防災緑地や臨海道路の整備が予定されている。

出初式のパレードや一斉放水の会場として利用する場合は、敷地の形状に応じた人の動きや会場のレイアウトなどを考慮する必要があることから、消防の方々と協議しながら、総合的な検討を行いたい。



▲出初式パレードの様子